

区政を聞く一般質問 (要旨)

詳しい内容は、会議録(2月中旬発行予定)をご覧ください。会議録は、区議会公式サイトや区政情報コーナー(区役所3階)、図書館などでご覧になれます。

二階建てデザインを前提としたバリアフリーの改善を

活用状況の分析を深め有効な指導事例の研究・共有等の支援を展開する。児童・生徒それぞれの学力・習熟度に合わせたICTを活用した学習について見解を伺う。

立石と金町の再開発

問東金町一丁目西地区の現状と今後の予定、区の課題認識について伺う。答本年4月に再開発組合が設立され、令和4年度の権利変換計画認可を目指す。権利者の合意形成を進めているが、地権者の生活再建を図りながら事業を着実に進めることが最重要課題と認識している。今後の予定について、I期工事は令和4年度着工、7年度竣工、II期工事は令和8年度着工、12年度竣工を予定している。

脱炭素社会に向けた環境施策の取組み

問第3次環境基本計画(素案)の概要と今後のスケジュールについて伺う。答環境像を「みんまでつくる、人や自然にやさしく持続可能なまち、かつしか」とし、再生可能エネルギーの利用拡大など、ゼロエミッションかつしかの実現に向け、積極果敢に本区の取り組みを推進する計画となっている。今後、パブリックコメントを行い、策定委員会、所管委員会の報告を経て決定する予定である。

区内公施設等に見るバリアフリーの改善点

問公共施設におけるみんまのトイレの手すりや片側しか設置されていない事例があるが、区のバリアフリー設備設計ならびコンクリート基準をどのように設けているのか。また、障害者と移動弱者と一緒に同じサービスを受けられることが真のバリアフリーと考えるがいかがか。答区では、区有建築物にバリアフリートイレを整備する際は、都の建築物バリアフリー条例を基に、さまざまな利用者が円滑にトイレを使用できるよう整備を進めており、既存施設の改修の際には見直しを図っていく。今後トイレの整備をはじめ、あらゆる人が生き生きと暮らせるユニバーサルデザインに貫かれた葛飾の実現に向けて取り組んでいく。

介護サービスの向上

問ケアマネジャーのコミュニケーション能力の向上や専門職としてのスキルアップを図るために、どのような取り組みをしているのか。答区では、毎年、介護支援専門員研修や主任介護支援専門員研修を実施している。また、ケアプランの点検を行う中で、ケアマネジャーが利用者との十分にコミュニケーションを取り、利用者本人の意向がケアプランに適切に反映されているか、外部の講師を交えて検証を行っている。今後とも、葛飾区介護サービス事業者協議会とも連携し、ケアマネジャーのスキルアップを図っていく。

金町駅周辺のまちづくり

問金町駅北口周辺地区まちづくりプランを基に道路拡張および駅前広場の拡張整備について治道地権者と個別に意見交換している。区では令和4年度末の都市計画決定を目指し関係機関・土地所有者と協議を進めている。JR金町駅舎の建て替えなどは繰り返し要望しており、将来の駅舎については、区有建築物にバリアフリーを整備する際は、都の建築物バリアフリー条例を基に、さまざまな利用者が円滑にトイレを使用できるよう整備を進めており、既存施設の改修の際には見直しを図っていく。今後トイレの整備をはじめ、あらゆる人が生き生きと暮らせるユニバーサルデザインに貫かれた葛飾の実現に向けて取り組んでいく。

金町駅周辺の都市環境整備

問さらさら交通利便性を高めるための移動手段の工夫を検討すべきと考える。隣接地域を巻き込んだシェアサイクルの促進について伺うとともに、自転車・電動キックボード専用レーンの整備方針について、所見を伺う。答現在、民間事業者によるシェアサイクルが実施され、コンビニ等でサイクルポートの整備が進められているが、整備箇所には偏りがある。今後、民間事業者と連携を図り、区の施設を活用したサイクルポートの整備によるシェアサイクルの拡大について検討を進める。また、特別電動キックボードについて、他自治体で行われている実証実験の推移を注視し、今後の対応について検討する。

教育環境の格差を生まないための取組

問公立小中学校での学力を確保するための取り組みを伺うとともに、学習の定着度による自習の促進や少人数制学習の推進が重要と考えるが、所見を伺う。答学力の確保・向上には、子どもたちが主体的に取り組む必要があることから、総合的な学力向上事業を基本計画に位置付けた。また、自学自習の促進として中学校では自学自習教材の活用、自習ウィークの設定等を

日本共産党葛飾区議会議員団

問総合庁舎整備(現庁舎・庁舎敷地の活用方針)を、法定例会で決定すると区長が表明したが、区長選で何も語らず不透明である。しかも、区長あいさつでもこの件は一言もない。答基本計画等で示した財政フレームを基本としつつ、社会経済状況を踏まえ計画的な基金残高確保に努めるとともに不断の経営改革の取り組みを推進する。財政基盤強化を図り、柔軟かつ安定的な財政運営に努めて持続可能なまちづくりを推進する。財政改革のほか、どのように取り組んでいくか、見解を伺う。

小管・堀切地域のまちづくり

問(仮称)子ども未来プラザ小管はスケジュールありきの整備ではなく、検討状況を議会に逐次報告し議論を深めてほしいが、見解を伺う。答スケジュールを含め全体プランの検討を進め、状況は折々の機会を捉えて議会に報告し、意見を賜う。一体的で調和のとれたまちづくりを進めていくため、都市計画マスタープランの改定を契機として堀切地域全体のまちづくりビジョンを新たに策定すべきと考えるが、見解を伺う。

今後の区政

問区民の理解を深め情報発信と地域が発展を担う体制づくりを。答区民の理解を深め情報発信と地域が発展を担う体制づくりを。答区民の理解を深め情報発信と地域が発展を担う体制づくりを。

健康寿命の延伸

問問世世代への健康づくり、生活習慣病予防対策など、今後の具体的な取り組みについて伺う。答区民の健康づくり、生活習慣病予防対策など、今後の具体的な取り組みについて伺う。

ゼロエミッションかつしか

問第2次環境基本計画の主な取り組みと進捗状況、第3次環境基本計画の主な事業について伺う。また、計画の策定と合わせ、ゼロエミッションに向けたより身近な目標を示すべきと思うが、見解を伺う。答温室効果ガス排出量を2018年度までの6年間に12.2%削減し、順調に推移している。今回、身近な目標として2030年度までに2013年度から50%の温室効果ガス排出量削減の高い目標を掲げた。また、ゼロエミッション実現のための7つの柱(1)の目標を主要な取り組みを定め、再生可能エネルギーへの利用転換など事業を積極的に実施する。

金町のまちづくり

問理科大学通り、北口ロータリーの整備、駅舎建て替え、改札口増設などの働き掛けを積極的に取り組んでほしい。現状と今後の取り組みを伺う。答金町駅北口周辺地区まちづくりプランを基に道路拡張および駅前広場の拡張整備について治道地権者と個別に意見交換している。区では令和4年度末の都市計画決定を目指し関係機関・土地所有者と協議を進めている。JR金町駅舎の建て替えなどは繰り返し要望しており、将来の駅舎については、区有建築物にバリアフリーを整備する際は、都の建築物バリアフリー条例を基に、さまざまな利用者が円滑にトイレを使用できるよう整備を進めており、既存施設の改修の際には見直しを図っていく。今後トイレの整備をはじめ、あらゆる人が生き生きと暮らせるユニバーサルデザインに貫かれた葛飾の実現に向けて取り組んでいく。

区内公施設等に見るバリアフリーの改善点

問公共施設におけるみんまのトイレの手すりや片側しか設置されていない事例があるが、区のバリアフリー設備設計ならびコンクリート基準をどのように設けているのか。また、障害者と移動弱者と一緒に同じサービスを受けられることが真のバリアフリーと考えるがいかがか。答区では、区有建築物にバリアフリートイレを整備する際は、都の建築物バリアフリー条例を基に、さまざまな利用者が円滑にトイレを使用できるよう整備を進めており、既存施設の改修の際には見直しを図っていく。今後トイレの整備をはじめ、あらゆる人が生き生きと暮らせるユニバーサルデザインに貫かれた葛飾の実現に向けて取り組んでいく。

介護サービスの向上

問ケアマネジャーのコミュニケーション能力の向上や専門職としてのスキルアップを図るために、どのような取り組みをしているのか。答区では、毎年、介護支援専門員研修や主任介護支援専門員研修を実施している。また、ケアプランの点検を行う中で、ケアマネジャーが利用者との十分にコミュニケーションを取り、利用者本人の意向がケアプランに適切に反映されているか、外部の講師を交えて検証を行っている。今後とも、葛飾区介護サービス事業者協議会とも連携し、ケアマネジャーのスキルアップを図っていく。

金町駅周辺のまちづくり

問金町駅北口周辺地区まちづくりプランを基に道路拡張および駅前広場の拡張整備について治道地権者と個別に意見交換している。区では令和4年度末の都市計画決定を目指し関係機関・土地所有者と協議を進めている。JR金町駅舎の建て替えなどは繰り返し要望しており、将来の駅舎については、区有建築物にバリアフリーを整備する際は、都の建築物バリアフリー条例を基に、さまざまな利用者が円滑にトイレを使用できるよう整備を進めており、既存施設の改修の際には見直しを図っていく。今後トイレの整備をはじめ、あらゆる人が生き生きと暮らせるユニバーサルデザインに貫かれた葛飾の実現に向けて取り組んでいく。

金町駅周辺の都市環境整備

問さらさら交通利便性を高めるための移動手段の工夫を検討すべきと考える。隣接地域を巻き込んだシェアサイクルの促進について伺うとともに、自転車・電動キックボード専用レーンの整備方針について、所見を伺う。答現在、民間事業者によるシェアサイクルが実施され、コンビニ等でサイクルポートの整備が進められているが、整備箇所には偏りがある。今後、民間事業者と連携を図り、区の施設を活用したサイクルポートの整備によるシェアサイクルの拡大について検討を進める。また、特別電動キックボードについて、他自治体で行われている実証実験の推移を注視し、今後の対応について検討する。

教育環境の格差を生まないための取組

問公立小中学校での学力を確保するための取り組みを伺うとともに、学習の定着度による自習の促進や少人数制学習の推進が重要と考えるが、所見を伺う。答学力の確保・向上には、子どもたちが主体的に取り組む必要があることから、総合的な学力向上事業を基本計画に位置付けた。また、自学自習の促進として中学校では自学自習教材の活用、自習ウィークの設定等を

日本共産党葛飾区議会議員団

問総合庁舎整備(現庁舎・庁舎敷地の活用方針)を、法定例会で決定すると区長が表明したが、区長選で何も語らず不透明である。しかも、区長あいさつでもこの件は一言もない。答基本計画等で示した財政フレームを基本としつつ、社会経済状況を踏まえ計画的な基金残高確保に努めるとともに不断の経営改革の取り組みを推進する。財政基盤強化を図り、柔軟かつ安定的な財政運営に努めて持続可能なまちづくりを推進する。財政改革のほか、どのように取り組んでいくか、見解を伺う。

小管・堀切地域のまちづくり

問(仮称)子ども未来プラザ小管はスケジュールありきの整備ではなく、検討状況を議会に逐次報告し議論を深めてほしいが、見解を伺う。答スケジュールを含め全体プランの検討を進め、状況は折々の機会を捉えて議会に報告し、意見を賜う。一体的で調和のとれたまちづくりを進めていくため、都市計画マスタープランの改定を契機として堀切地域全体のまちづくりビジョンを新たに策定すべきと考えるが、見解を伺う。

今後の区政運営

問今後の4年間をどのような時期と認識しているのか。答今後の4年間をどのような時期と認識しているのか。

基金の積立及び活用

問基金の適切な運用を推進するための今後の取り組みを伺う。答基金の適切な運用を推進するための今後の取り組みを伺う。

新型コロナウイルス対策持続化支援

問来年度、融資も厳しい状況にあるが、また、区内産業も厳しい状況にあることから、一定期間の申込受付期間の延長を再度検討したいが、見解を伺う。答来年度、融資も厳しい状況にあるが、また、区内産業も厳しい状況にあることから、一定期間の申込受付期間の延長を再度検討したいが、見解を伺う。

マイナンバーカードの普及・促進

問今後、デジタル化に対応した区民サービスの向上や区の業務の効率化に向け、マイナンバーカードの活用をさらに進めていくべきと思うが、区の考えを伺う。答今後、デジタル化に対応した区民サービスの向上や区の業務の効率化に向け、マイナンバーカードの活用をさらに進めていくべきと思うが、区の考えを伺う。

人権・多様性

問本区でも同性パートナーシップ制度を創設すべきと思うがどうか。答本区でも同性パートナーシップ制度を創設すべきと思うがどうか。

地球温暖化対策

問二酸化炭素削減の抑制とCO2削減を減らす取り組みには、植樹の位置付けが必要である。区内の街路樹、公園や公共施設の植樹の管理について、本数の把握や各樹木のCO2吸収量など、区民に見えるように環境保全意識を高めてほしいが、見解を伺う。また、区の管理樹木を切ったときには、その分新しく樹木を植え、木をこれ以上減らさない取り組みを行うべきと思うがどうか。答一帯に樹木の木数を減らすことは難しい。区民の環境保全意識を高める指標として区全体を育てる緑被率などを活用しながら、取り組みを進め、施設整備や改修の際には、より多くの植栽ができるよう工夫していく。

子育て支援

問公立保育園における0歳児保育や、延長保育を全ての保育園で実施すべきと思うがどうか。答公立保育園における0歳児保育や、延長保育を全ての保育園で実施すべきと思うがどうか。

地球温暖化対策、ジェンダー平等などの取り組みを貫く

答一帯に樹木の木数を減らすことは難しい。区民の環境保全意識を高める指標として区全体を育てる緑被率などを活用しながら、取り組みを進め、施設整備や改修の際には、より多くの植栽ができるよう工夫していく。

成果指標

答一帯に樹木の木数を減らすことは難しい。区民の環境保全意識を高める指標として区全体を育てる緑被率などを活用しながら、取り組みを進め、施設整備や改修の際には、より多くの植栽ができるよう工夫していく。

今後の区政運営

問今後の4年間をどのような時期と認識しているのか。答今後の4年間をどのような時期と認識しているのか。

基金の積立及び活用

問基金の適切な運用を推進するための今後の取り組みを伺う。答基金の適切な運用を推進するための今後の取り組みを伺う。

新型コロナウイルス対策持続化支援

問来年度、融資も厳しい状況にあるが、また、区内産業も厳しい状況にあることから、一定期間の申込受付期間の延長を再度検討したいが、見解を伺う。答来年度、融資も厳しい状況にあるが、また、区内産業も厳しい状況にあることから、一定期間の申込受付期間の延長を再度検討したいが、見解を伺う。

マイナンバーカードの普及・促進

問今後、デジタル化に対応した区民サービスの向上や区の業務の効率化に向け、マイナンバーカードの活用をさらに進めていくべきと思うが、区の考えを伺う。答今後、デジタル化に対応した区民サービスの向上や区の業務の効率化に向け、マイナンバーカードの活用をさらに進めていくべきと思うが、区の考えを伺う。

人権・多様性

問本区でも同性パートナーシップ制度を創設すべきと思うがどうか。答本区でも同性パートナーシップ制度を創設すべきと思うがどうか。

地球温暖化対策

問二酸化炭素削減の抑制とCO2削減を減らす取り組みには、植樹の位置付けが必要である。区内の街路樹、公園や公共施設の植樹の管理について、本数の把握や各樹木のCO2吸収量など、区民に見えるように環境保全意識を高めてほしいが、見解を伺う。また、区の管理樹木を切ったときには、その分新しく樹木を植え、木をこれ以上減らさない取り組みを行うべきと思うがどうか。答一帯に樹木の木数を減らすことは難しい。区民の環境保全意識を高める指標として区全体を育てる緑被率などを活用しながら、取り組みを進め、施設整備や改修の際には、より多くの植栽ができるよう工夫していく。

子育て支援

問公立保育園における0歳児保育や、延長保育を全ての保育園で実施すべきと思うがどうか。答公立保育園における0歳児保育や、延長保育を全ての保育園で実施すべきと思うがどうか。

地球温暖化対策、ジェンダー平等などの取り組みを貫く

答一帯に樹木の木数を減らすことは難しい。区民の環境保全意識を高める指標として区全体を育てる緑被率などを活用しながら、取り組みを進め、施設整備や改修の際には、より多くの植栽ができるよう工夫していく。

成果指標

答一帯に樹木の木数を減らすことは難しい。区民の環境保全意識を高める指標として区全体を育てる緑被率などを活用しながら、取り組みを進め、施設整備や改修の際には、より多くの植栽ができるよう工夫していく。

成果指標

答一帯に樹木の木数を減らすことは難しい。区民の環境保全意識を高める指標として区全体を育てる緑被率などを活用しながら、取り組みを進め、施設整備や改修の際には、より多くの植栽ができるよう工夫していく。

今後の区政運営

問今後の4年間をどのような時期と認識しているのか。答今後の4年間をどのような時期と認識しているのか。

基金の積立及び活用

問基金の適切な運用を推進するための今後の取り組みを伺う。答基金の適切な運用を推進するための今後の取り組みを伺う。

新型コロナウイルス対策持続化支援

問来年度、融資も厳しい状況にあるが、また、区内産業も厳しい状況にあることから、一定期間の申込受付期間の延長を再度検討したいが、見解を伺う。答来年度、融資も厳しい状況にあるが、また、区内産業も厳しい状況にあることから、一定期間の申込受付期間の延長を再度検討したいが、見解を伺う。

マイナンバーカードの普及・促進

問今後、デジタル化に対応した区民サービスの向上や区の業務の効率化に向け、マイナンバーカードの活用をさらに進めていくべきと思うが、区の考えを伺う。答今後、デジタル化に対応した区民サービスの向上や区の業務の効率化に向け、マイナンバーカードの活用をさらに進めていくべきと思うが、区の考えを伺う。

人権・多様性

問本区でも同性パートナーシップ制度を創設すべきと思うがどうか。答本区でも同性パートナーシップ制度を創設すべきと思うがどうか。

地球温暖化対策

問二酸化炭素削減の抑制とCO2削減を減らす取り組みには、植樹の位置付けが必要である。区内の街路樹、公園や公共施設の植樹の管理について、本数の把握や各樹木のCO2吸収量など、区民に見えるように環境保全意識を高めてほしいが、見解を伺う。また、区の管理樹木を切ったときには、その分新しく樹木を植え、木をこれ以上減らさない取り組みを行うべきと思うがどうか。答一帯に樹木の木数を減らすことは難しい。区民の環境保全意識を高める指標として区全体を育てる緑被率などを活用しながら、取り組みを進め、施設整備や改修の際には、より多くの植栽ができるよう工夫していく。

子育て支援

問公立保育園における0歳児保育や、延長保育を全ての保育園で実施すべきと思うがどうか。答公立保育園における0歳児保育や、延長保育を全ての保育園で実施すべきと思うがどうか。

地球温暖化対策、ジェンダー平等などの取り組みを貫く

答一帯に樹木の木数を減らすことは難しい。区民の環境保全意識を高める指標として区全体を育てる緑被率などを活用しながら、取り組みを進め、施設整備や改修の際には、より多くの植栽ができるよう工夫していく。

成果指標

答一帯に樹木の木数を減らすことは難しい。区民の環境保全意識を高める指標として区全体を育てる緑被率などを活用しながら、取り組みを進め、施設整備や改修の際には、より多くの植栽ができるよう工夫していく。

成果指標

答一帯に樹木の木数を減らすことは難しい。区民の環境保全意識を高める指標として区全体を育てる緑被率などを活用しながら、取り組みを進め、施設整備や改修の際には、より多くの植栽ができるよう工夫していく。

今後の区政運営

問今後の4年間をどのような時期と認識しているのか。答今後の4年間をどのような時期と認識しているのか。

基金の積立及び活用

問基金の適切な運用を推進するための今後の取り組みを伺う。答基金の適切な運用を推進するための今後の取り組みを伺う。

新型コロナウイルス対策持続化支援

問来年度、融資も厳しい状況にあるが、また、区内産業も厳しい状況にあることから、一定期間の申込受付期間の延長を再度検討したいが、見解を伺う。答来年度、融資も厳しい状況にあるが、また、区内産業も厳しい状況にあることから、一定期間の申込受付期間の延長を再度検討したいが、見解を伺う。

マイナンバーカードの普及・促進

問今後、デジタル化に対応した区民サービスの向上や区の業務の効率化に向け、マイナンバーカードの活用をさらに進めていくべきと思うが、区の考えを伺う。答今後、デジタル化に対応した区民サービスの向上や区の業務の効率化に向け、マイナンバーカードの活用をさらに進めていくべきと思うが、区の考えを伺う。

人権・多様性

問本区でも同性パートナーシップ制度を創設すべきと思うがどうか。答本区でも同性パートナーシップ制度を創設すべきと思うがどうか。

地球温暖化対策

問二酸化炭素削減の抑制とCO2削減を減らす取り組みには、植樹の位置付けが必要である。区内の街路樹、公園や公共施設の植樹の管理について、本数の把握や各樹木のCO2吸収量など、区民に見えるように環境保全意識を高めてほしいが、見解を伺う。また、区の管理樹木を切ったときには、その分新しく樹木を植え、木をこれ以上減らさない取り組みを行うべきと思うがどうか。答一帯に樹木の木数を減らすことは難しい。区民の環境保全意識を高める指標として区全体を育てる緑被率などを活用しながら、取り組みを進め、施設整備や改修の際には、より多くの植栽ができるよう工夫していく。

子育て支援

問公立保育園における0歳児保育や、延長保育を全ての保育園で実施すべきと思うがどうか。答公立保育園における0歳児保育や、延長保育を全ての保育園で実施すべきと思うがどうか。

地球温暖化対策、ジェンダー平等などの取り組みを貫く

答一帯に樹木の木数を減らすことは難しい。区民の環境保全意識を高める指標として区全体を育てる緑被率などを活用しながら、取り組みを進め、施設整備や改修の際には、より多くの植栽ができるよう工夫していく。

成果指標

答一帯に樹木の木数を減らすことは難しい。区民の環境保全意識を高める指標として区全体を育てる緑被率などを活用しながら、取り組みを進め、施設整備や改修の際には、より多くの植栽ができるよう工夫していく。

成果指標

答一帯に樹木の木数を減らすことは難しい。区民の環境保全意識を高める指標として区全体を育てる緑被率などを活用しながら、取り組みを進め、施設整備や改修の際には、より多くの植栽ができるよう工夫していく。

